



第1回気象情報利活用研究会

「気象情報利活用研究会」を発足

明星電気は8月8日、前橋市、サンデン(株)などと共に産官学による「気象情報利活用研究会」を発足いたしました。本研究会では、稠密に観測した気象データを自治体や学校にどのように活用できるかについて議論を行います。

第1回研究会では、気象計設置自治体のうち、群馬県と埼玉県の9市町の防災担当者、教育担当者や大学など26名が参加し、突風・竜巻・ゲリラ豪雨などの局所的な気象現象の事前に察知し住民への注意喚起につなげる可能性や、学校教材へ活用する方法などを議論しました。

なお当社は、本研究会の発足に先立ち、群馬県と埼玉県の13市町の自治体の協力を得て、小学校等93か所に約2km間隔で、風向風速計や雨量計を追加した新型小型気象計「POTEKA」を設置し、昨年度設置分と合わせて計123観測点の観測データを研究会メンバーに提供しています(*)。

明星電気は、今後も地域の安全快適な街づくりに、稠密な気象データを役立てる取り組みを継続してまいります。

(※)気象計の設置数は2014年8月22日現在

(担当:気象・管制事業部 地上気象グループ)



POTEKAの説明を行う石井社長

群馬テレビ ニュースeye8に石井社長が出演しました！

8月25日、当社石井社長が群馬テレビのニュースeye8番組内コーナー「リーダーズアイ」に生放送で出演しました。

石井社長は、明星電気の事業展開や、小型気象計POTEKAが昨年群馬県内で発生したダウンバースト発生の観測に成功した事例を説明しました。

また、「気象情報利活用研究会」のなかでPOTEKAで得られたデータを地域の安全快適な街づくりにどう活用するかなどを紹介しました。この他、社長自身の専門であるジェットエンジンやトップとして心がけていることなどの話題が出ました。

明星電気は、POTEKAをはじめ気象・防災分野において、今後も地域の安全・安心な社会に貢献してまいります。

(広報担当:経営企画室)



フィリピン震度対応強震計



震度データ表示画面

フィリピン火山地震研究所様工場見学！

フィリピン火山地震研究所 (PHIVOLCS) のシステム担当者3名様他が、工場見学に当社しました。昨年度NEC様経由で受注し、来年現地設置されるフィリピン広域防災システムの強震計、津波観測装置、サーバ用アプリケーション等のシステム確認を行いました。フィリピン広域防災システムは、強震計、津波観測装置、これらの情報を集約するサーバで構成され、フィリピン各地の地震、潮位を観測・監視するシステムです。

フィリピンは、昨年10月のマグニチュード7.2の地震により、セブ島、ボホール島等で70人以上の死者、260人以上の負傷者が出て、11月には台風30号によりレイテ島の中心都市タクロバンが壊滅的な被害を受けるなど、日本と同様に地震、台風被害の多い国です。明星電気は、この広域防災システムの各機器によりフィリピンの防災、減災に貢献できるよう製作を進めています。

(当社営業担当:防災事業部 営業部 高木 誠一)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

明星電気の活動を紹介します。